

2024年02月01日

FIoT コンソーシアム  
メディカル・ウェルネスデバイス分科会

## 2023年度 第3回メディカル・ウェルネスデバイス分科会開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、当コンソーシアムの分科会活動に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、室内照明環境がそこで過ごす人たちに与える効果や影響、あるいは、そのデザインに関して造詣の深い2名の先生にご講演をお願いし、「リビングラボ」における人間工学実験やウェルビーイングに資するデバイスの開発に向けての勉強会とさせて頂くべく企画致しました。当該分野の基礎と最新情報をお伺いできる貴重な機会です。多数のご参加をお待ちしております。なお、資料配布は現地参加者の皆様に限定させていただきます。予めご了承の程お願い致します。

お申し込みはコンソーシアム HP (<https://www.ssrc-fiot.jp>) よりお願い致します。

敬具

### 記

日時：2024年02月07日（水） 14：00～17：00（13：30入場開始）

会場：産総研つくばセンター 本部・情報棟 1階 01303室

### プログラム：

14：00～14：05 開会ご挨拶

メディカル・ウェルネスデバイス分科会 会長 福田 隆史

14：05～15：25 『生活シーンと視覚特性を考慮した一日あるいは一年を通した照明の適正化』

放送大学 特任教授 / 奈良学習センター 所長

奈良女子大学 名誉教授 井上 容子 先生

15：25～15：35 休憩

15：35～16：55 『夜の光環境と概日リズムの夜型化』

九州大学 大学院 芸術工学研究院 人間生活デザイン部門 教授

樋口 重和 先生

16：55～17：00 閉会挨拶

メディカル・ウェルネスデバイス分科会 会長 福田 隆史

---

(注1)

#### 【井上先生 ご講演概要】

明視性と雰囲気性に優れ、生体リズムを乱さない質の高い光環境の維持が照明計画の目指すところ。照明計画の基本的要素である照度と色温度を取りあげ、シーンや年齢に応じた適正条件と調節方法の検討例を紹介。朝と夜、季節による照明要求の変化の有無についても考究したいと思います。

(注2)

【樋口先生 ご講演概要】

夜の光は脳の体内時計に作用し、夜に分泌が高まるメラトニンの生成を抑制する。さらに、概日リズムの夜型化を引き起こす。これらの影響は、実験室の中だけではなく、日常生活の中でも起こり得る。また、光の影響は明るさだけではなく光の波長によっても異なる。さらに、光の影響の受けやすさには個人差があることがわかっている。本講演では子どもと大人を比較した研究も含め紹介したい。

事務局：

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター内  
FIoT コンソーシアム メディカル・ウェルネスデバイス分科会担当

[M-ssrc-fiot-medwell-ml@aist.go.jp](mailto:M-ssrc-fiot-medwell-ml@aist.go.jp)

電話：029-861-9349（福田）

アクセス： 産業技術総合研究所 つくばセンター 本部・情報棟 1階 01303 室  
〒305-8560 茨城県つくば市梅園 1-1-1

[https://www.aist.go.jp/aist\\_j/guidemap/tsukuba/center/tsukuba\\_map\\_c.html](https://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tsukuba/center/tsukuba_map_c.html)

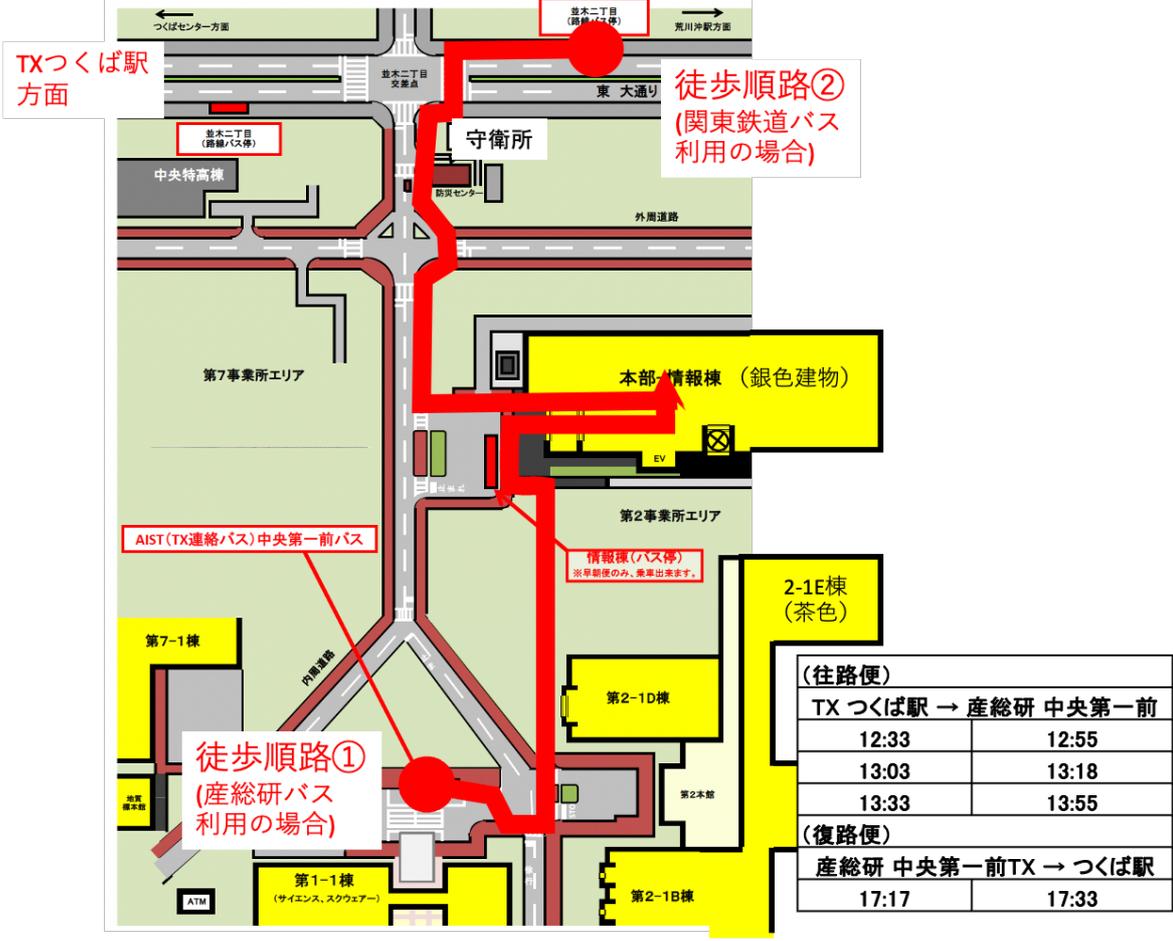
※ 公共交通にてご来所の方は TX つくば駅から産総研連絡バス(無料)もご利用頂けます  
【乗り場のご案内】

TX つくば駅 A3 出口から徒歩1分 連絡バス乗り場：一般交通広場・Aバス停

TXつくば駅【A3出口】



国立研究開発法人 **産業技術総合研究所**  
 つくば中央～(TX連絡バス)バス停案内図



以上